

全国と沖縄の力をひとつに合わせ、平和の「人間の鎖」をつなごう

# 2007年日本平和大会 in 沖縄に 多数の代表を送り成功させましょう

2007年10月10日 日米軍事同盟打破・基地撤去 2007年日本平和大会実行委員会

軍事同盟も米軍基地もない憲法9条の輝く日本をめざす2007年日本平和大会が近づいてきました。この大会を全国、沖縄の多数の参加者で成功させることは、いまいよいよ重要になっています。

第1に大会は、いま沖縄で県民ぐるみの運動がくりひろげられている、沖縄戦「集団自決」の歴史を改ざんする教科書検定意見の撤回を求める運動に、固く連帯する大会です。9月29日には県民の1割、約12万人が参加し、県民大会が開かれました。「集団自決」は、日本軍の命令や強制によって家族同士が殺しあう状況に追い込まれた悲惨な体験です。政府・文科省はこれを、軍命はなかった、県民が自ら行った行為だと、教科書記述を書き直させたのです。県民が怒りを爆発させ、「検定意見」の撤回を求めているのは当然です。07年日本平和大会はこの沖縄県民のたたかいに連帯し、沖縄戦と侵略戦争の真実を学び、侵略戦争美化を許さない運動を発展させる大会です。

第2に大会は、福田政権が参院選の国民の審判に背を向けてすすめている、アメリカいなしの「戦争する国づくり」、日米軍事同盟強化に反対する多彩な運動を交流し、発展させる大会です。特に福田政権は、この臨時国会で新テロ特措法を制定し、アメリカの報復戦争支援のためのインド洋での自衛艦の補給活動を継続しようとしています。この活動は、アメリカの戦争支援そのものです。罪なきアフガン市民の命を奪い、テロを拡大する結果を生み出し、さらにイラク戦争支援にもつながっている憲法違反の行為です。大会は、この新法阻止のたたかいのただなかで開かれます。このたたかいはじめ、アメリカの戦争支援のための海外派兵、「戦争する国づくり」に反対し、憲法を守る草の根からの運動をもちより交流し、運動を発展させましょう。

第3に大会は、沖縄の名護市辺野古への新基地建設反対、東村高江のヘリパッド建設反対など、米軍基地強化反対のたたかいと熱く交流し、岩国、横須賀、座間はじめ全国の米軍基地強化反対のたたかいを総結集し、米軍基地強化反対運動の新たな発展をつくりだす大会です。大会には米軍基地に反対してたたかっているアメリカ、イタリア、韓国、エクアドルの海外代表も参加し、米軍基地に反対し、非核平和のアジアと世界をめざす国際連帯も深めます。

そして大会は最終日に、新米軍基地建設予定地の米軍キャンプ・シュワブ基地を包囲する「人間の鎖」行動を行います。全国と沖縄の多数の参加者で大きな「人間の鎖」をつなぎあい、私たちの平和の意思をしっかりと示していこうではありませんか。

今年の平和大会は、参院選挙での与野党逆転が切り開いた新しい条件と可能性のもとで開かれるだけに、特別の歴史的な意義を持つものです。自民・公明政治に阻まれてきた切実な平和の願いを、私たちのたたかいによって実現する出発点とするとともに、アメリカいなしの政治のあり方を根本的に問いかけ、日米軍事同盟を打ち破っていく道筋を探求する大会として成功させようではありませんか。

この大きな意義と魅力を持った07年日本平和大会に、全国、各団体から多数の代表を送り出してください。多彩な平和の要求と草の根の活動を持ち寄り、交流し、沖縄のたたかいと固く連帯しながら、08年に向けた平和のエネルギーをつくりだしていきましょう。沖縄でお会いしましょう！